

iPad 初期設定ガイド

1 iPad の各部の名称



- ①ホームボタン:起動中のアプリを終了してホーム画面に戻ります。その他色々な操作に使用します。
- ②スクリーン:この部分に指で触れることで iPad を操作します。
- ③App アイコン:色々な機能を持ったアプリ(ソフト)のショートカットのこと。ここをタッチすることでアプリを起動します。



- ④前面側カメラ iPad を使っている人の顔を鏡のように映すためのものです。
- ⑤電源/スリープボタン:ここを短く押すと休止モードに、長く押すと電源が切れます。
- ⑥カメラ:携帯電話などについているカメラと同様のものです。
- ⑦画面横のスイッチ:消音モードの on/off または画面ロック

平成26年

大阪市立光陽特別支援学校 ICT 教育部

の on/off を切り替えます。

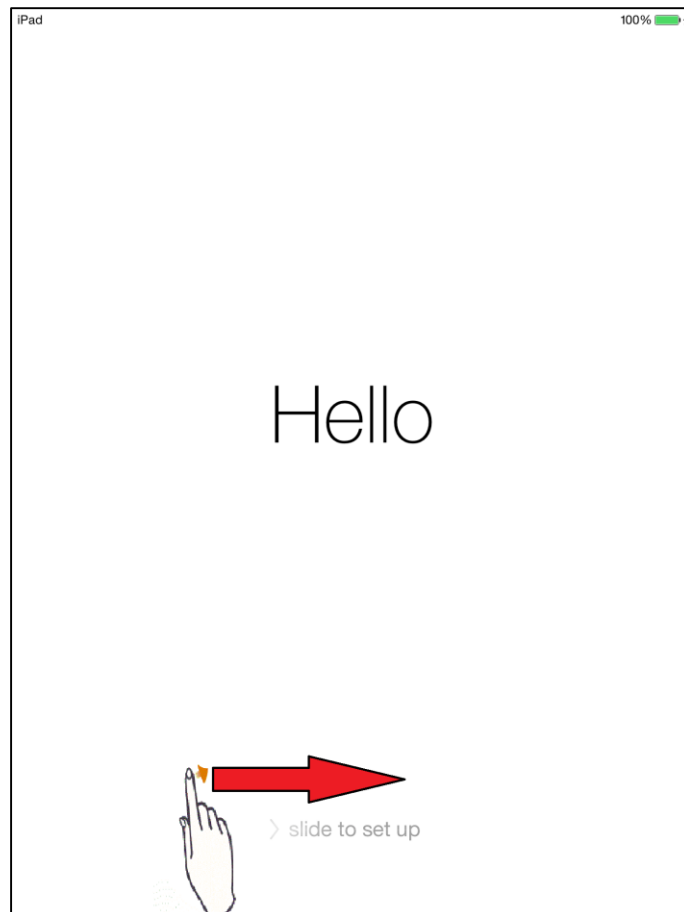
⑧音量ボタン

⑨Lightning コネクタ：電源コネクタはここに差し込みます。

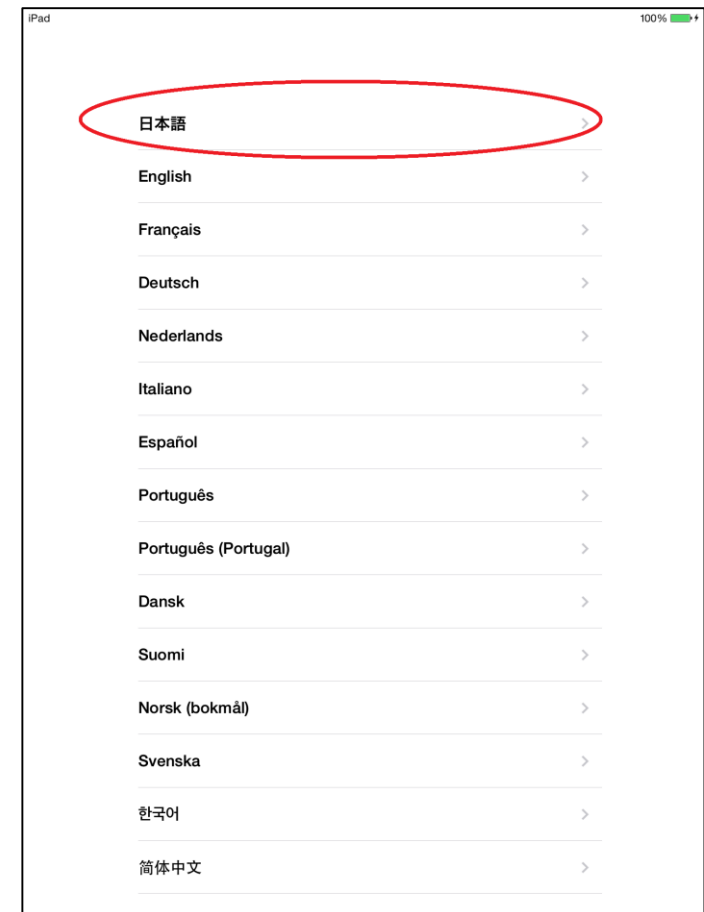
初めて電源を入れると上図の画面が立ち上がるので
画面下部をスライドします。

2 初期設定を行う

①初期画面



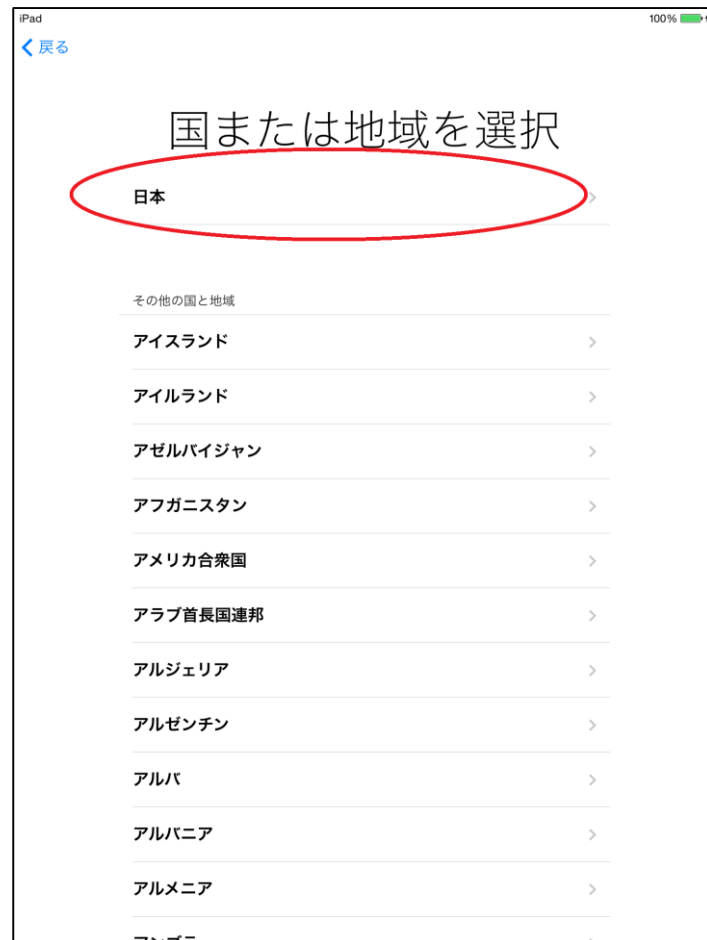
②言語の選択



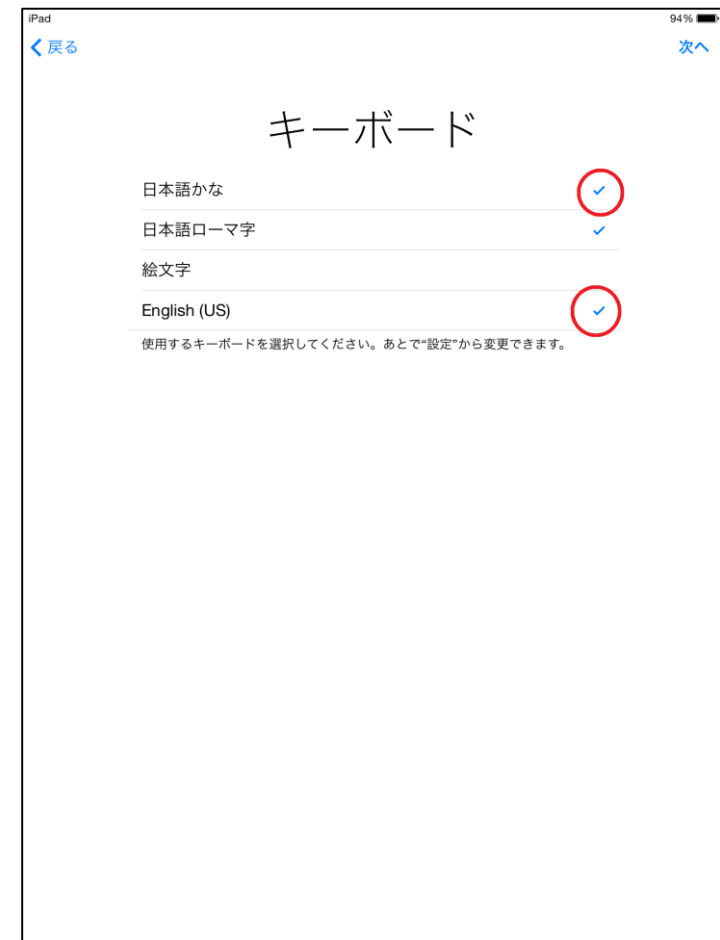
「日本」を選択。

言語は「日本語」を選択します。

③地域の選択



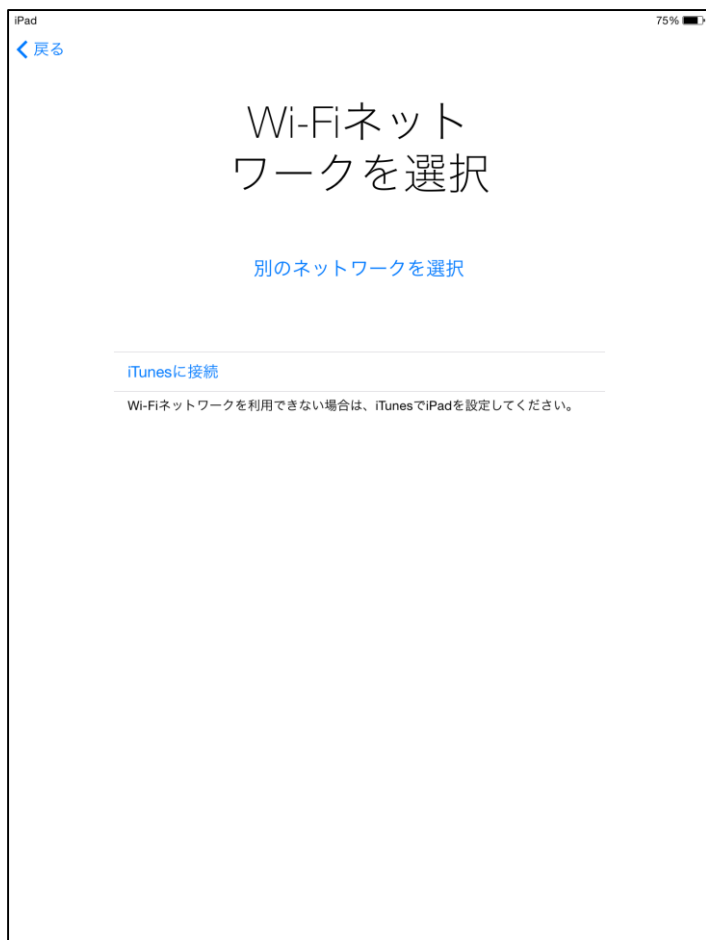
④キーボードの種類



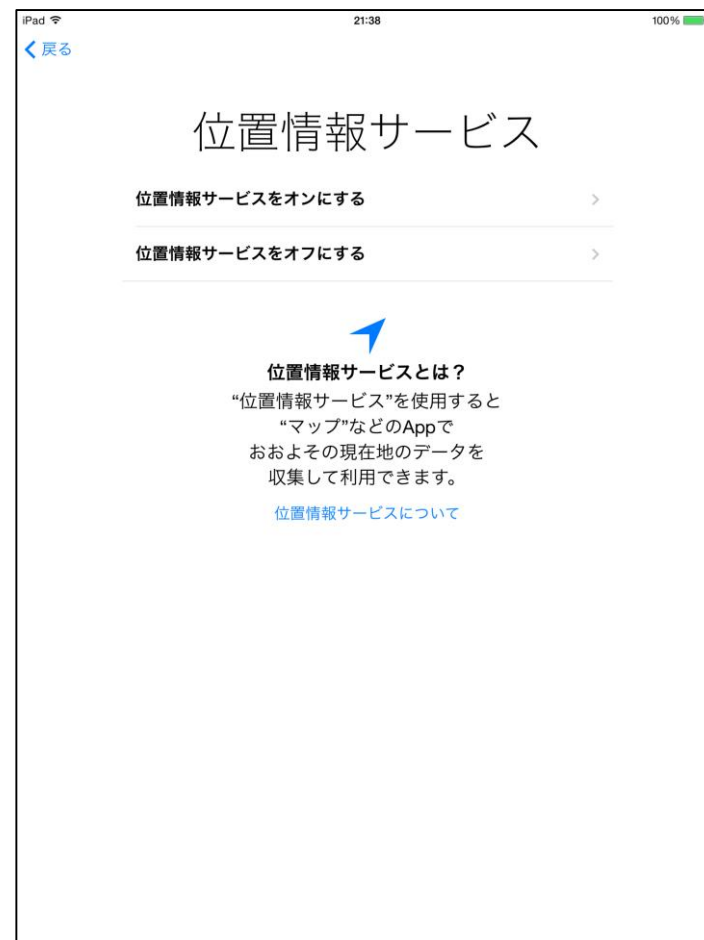
「English(US)」を追加します。
絵文字は特に必要ないのでチェックを外します。

設定には Wi-Fi か iTunes 環境が必要です。
今回は本校の Wi-Fi をお使いください(別紙)。

⑤Wi-Fi の選択(初期設定には必須)



⑥位置情報サービス

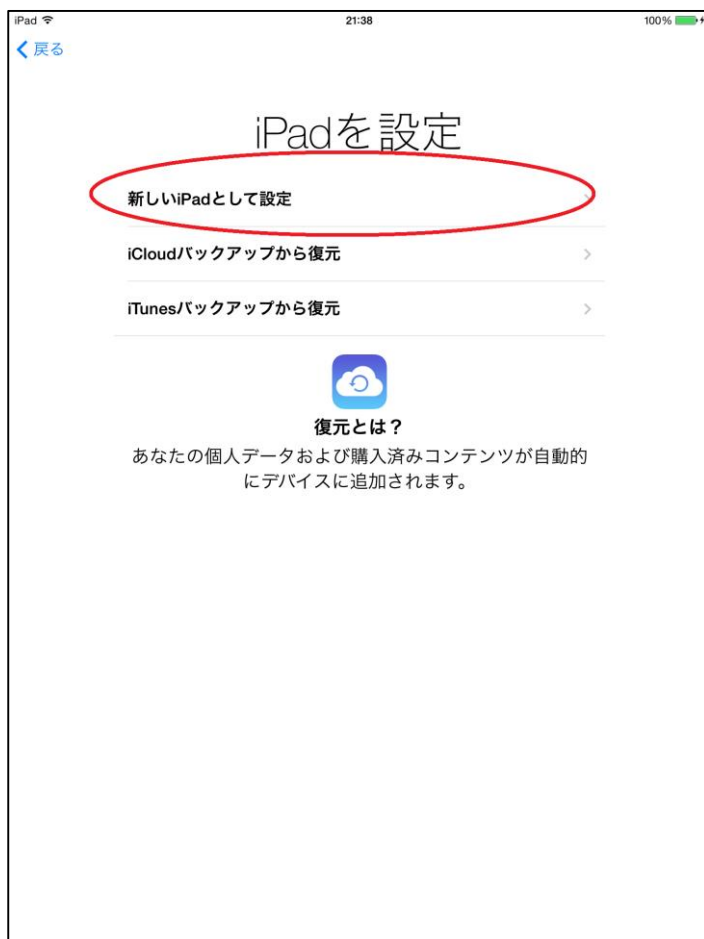


位置情報ON → 地図などで活用します。

OFF → 省電力につながります

初期設定の場合は「新しいiPad」を選択。

⑦iPad の設定



⑧AppleID(新規)



平成 2 6 年

大阪市立光陽特別支援学校 ICT 教育部

「無料の Apple ID を作成」を選択。

2 台目以降は「Apple ID でサインイン」を選択。

⑨必要情報の入力

誕生日

誕生日はサービスを受ける権利の確認および、パスワードを忘れてしまった場合の本人確認に使用されます。

誕生日 2000/01/01

1997年	10月	29日
1998年	11月	30日
1999年	12月	31日
2000年	1月	1日
2001年	2月	2日
2002年	3月	3日
2003年	4月	4日

例：「2000 年 1 月 1 日」と設定。

名前

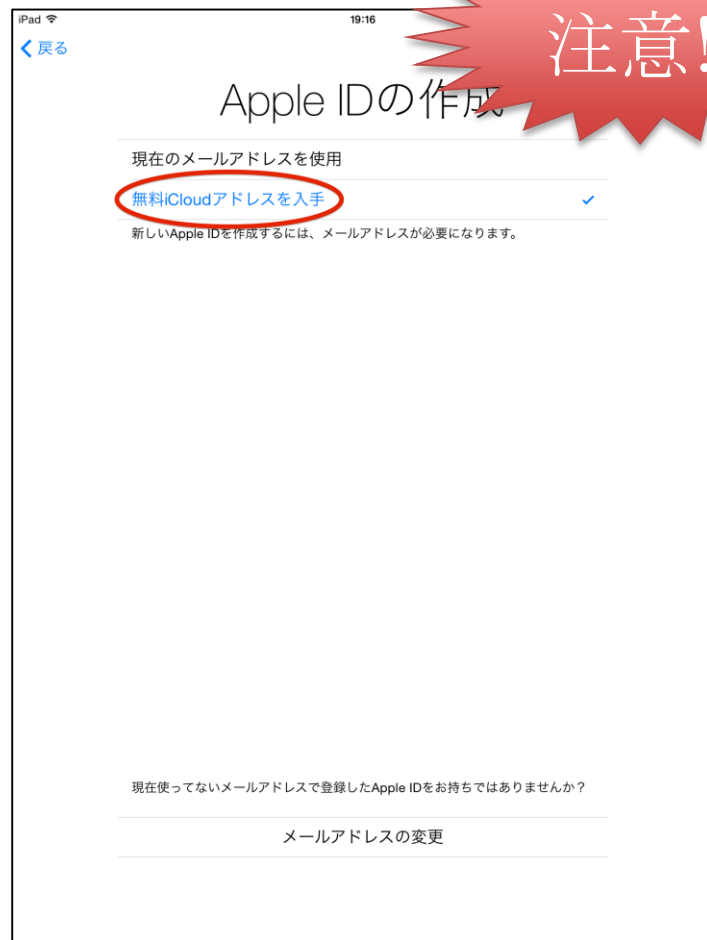
姓 名

名 姓

姓、名を入力。

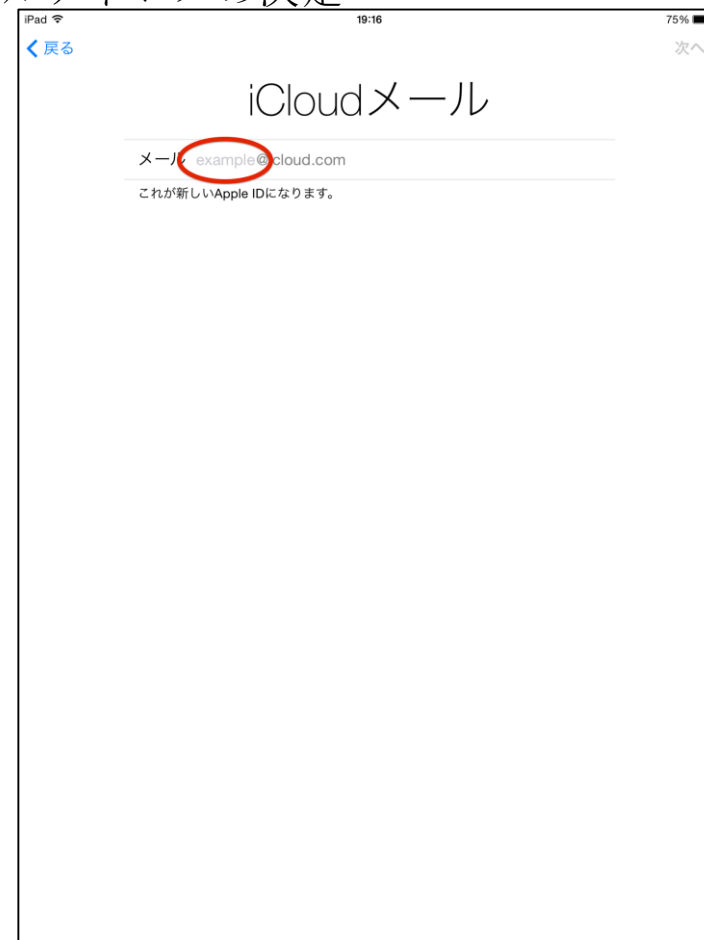
例：姓 大阪市
名 光陽

⑩



必ず「無料 iCloud アドレスを入手」を選択します。

⑪ メールアドレスの決定



「@icloud～」の前は任意になります。

例： 12345Koyo@icloud.com

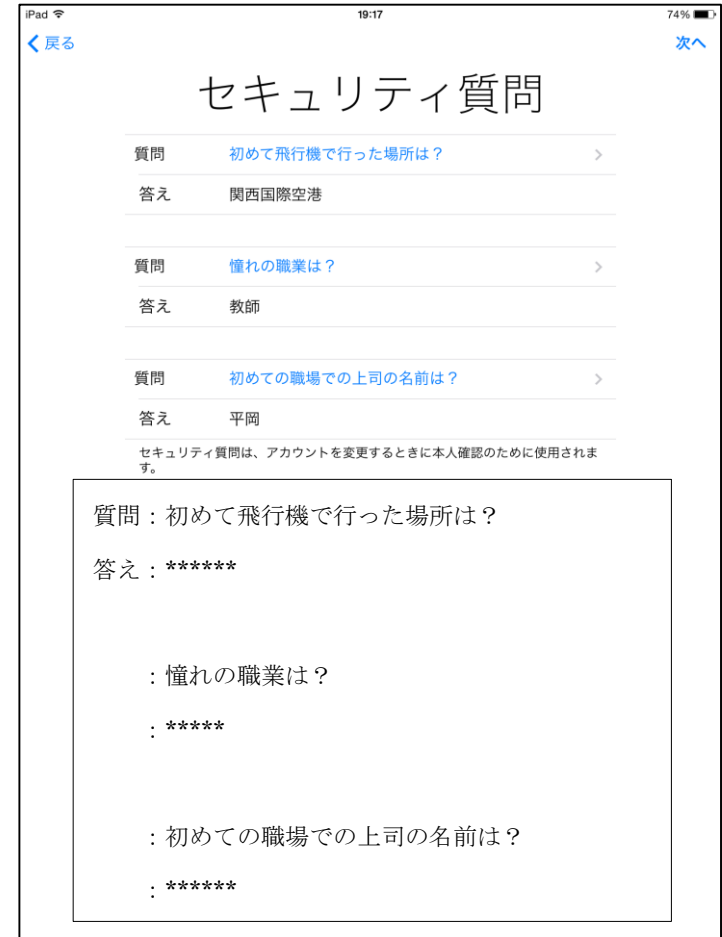
⑩パスワード設定



アプリ購入の際などに使うパスワードを設定。

注：数字、大文字、小文字を含む8文字以上の文字列。全校共通パスワード。

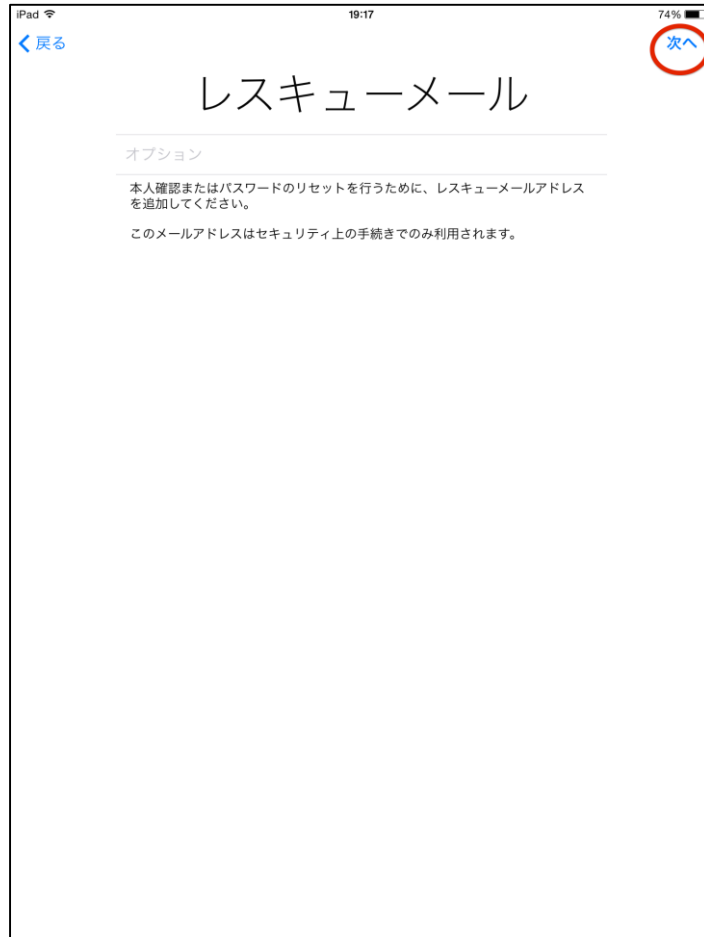
⑪秘密の質問



Apple ID の基本設定を変更する際に必要な質問です。

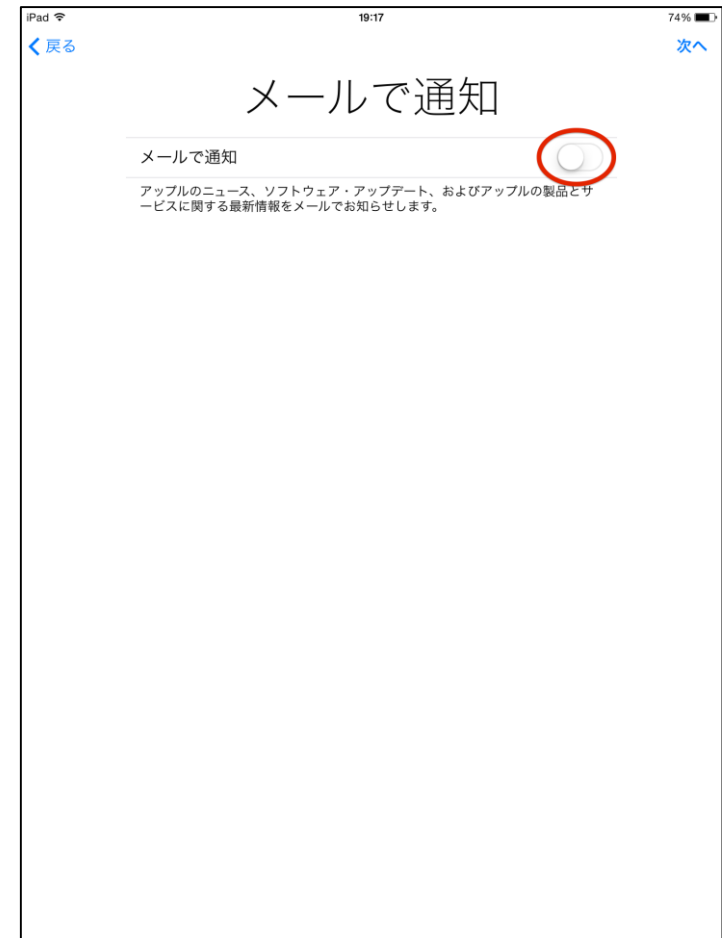
複数台ある場合は、共通にしましょう。

⑫ レスキューメール



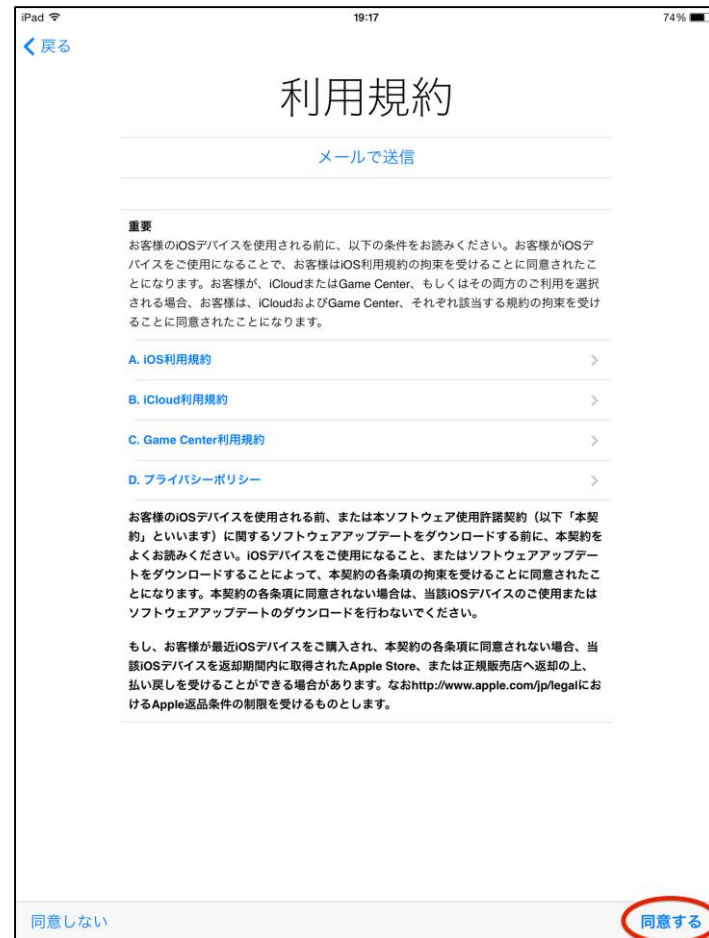
設定せずにそのまま「次へ」

⑬



⑪で決めたアドレスに Apple 製品の情報が届きます。
特に必要のない場合は OFF に。

⑭利用規約



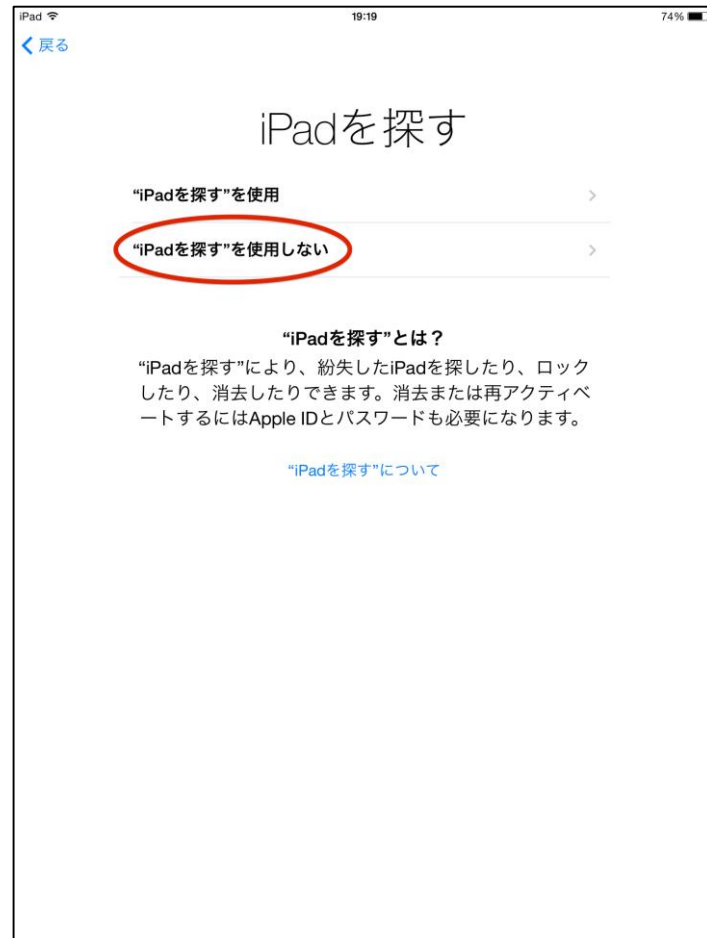
「同意する」を選択。

⑮iCloud の利用



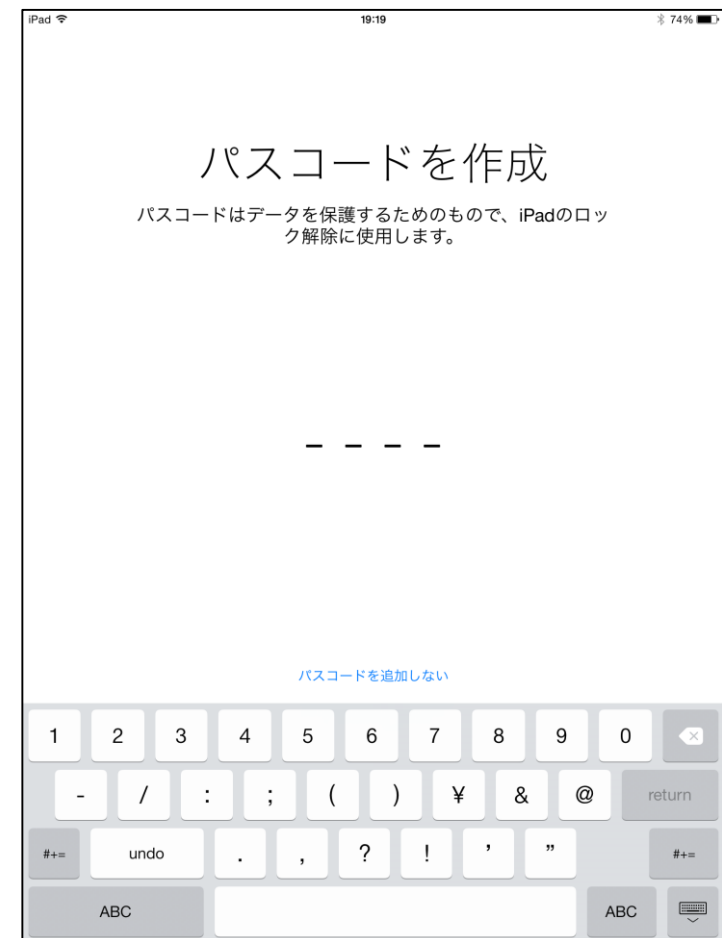
「使用」を選択。

⑩iPad を探す



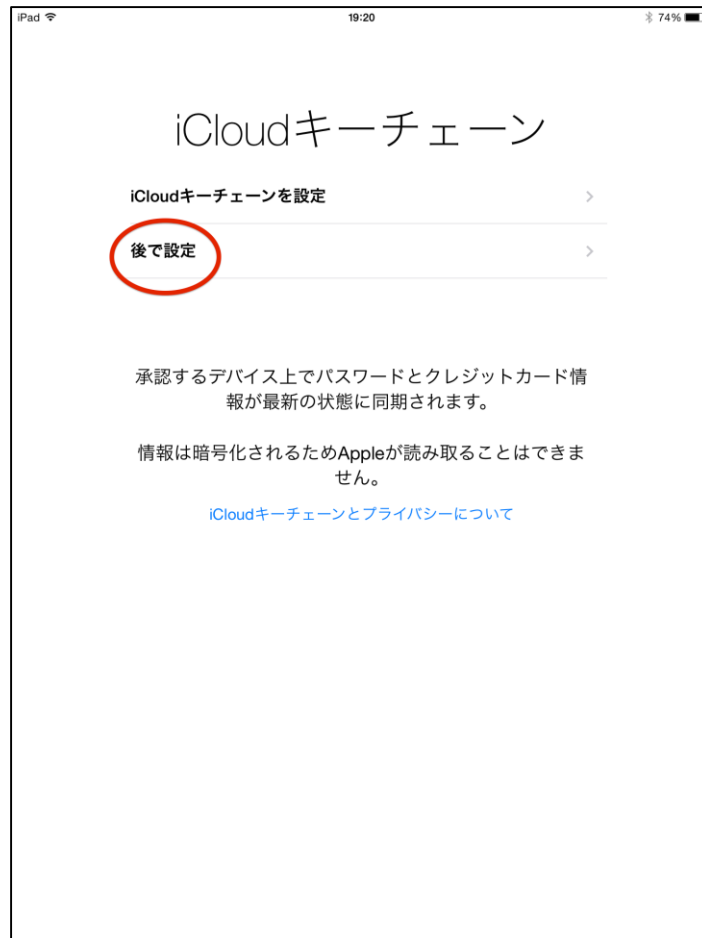
セキュリティに課題があるので、
「使用しない」を選択。

⑪パスコード



iPad をロックするのに必要な暗証番号です。
これも全校共通にします。
「****」を入力。

⑱キーチェーンの設定



これもセキュリティに課題があるので、
「後で設定」を選択。

⑲Siri(音声操作システム)



ネット環境が必要ですが、便利な機能なので
ぜひ ON にしておきましょう。

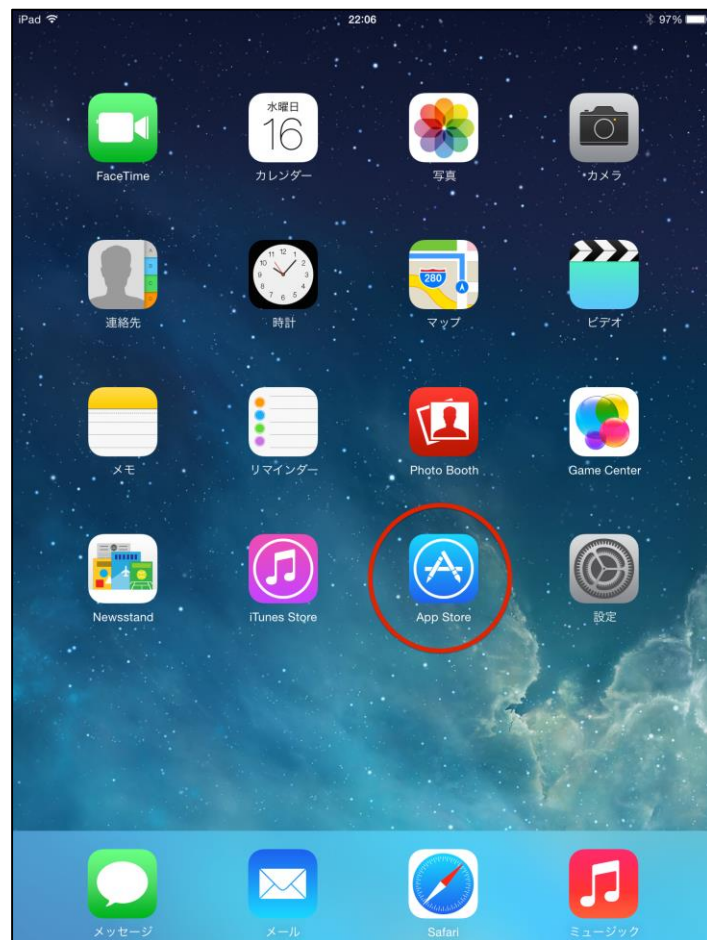
②⑩自動診断



情報漏洩の危険性を回避するために、「送信しない」を選択。

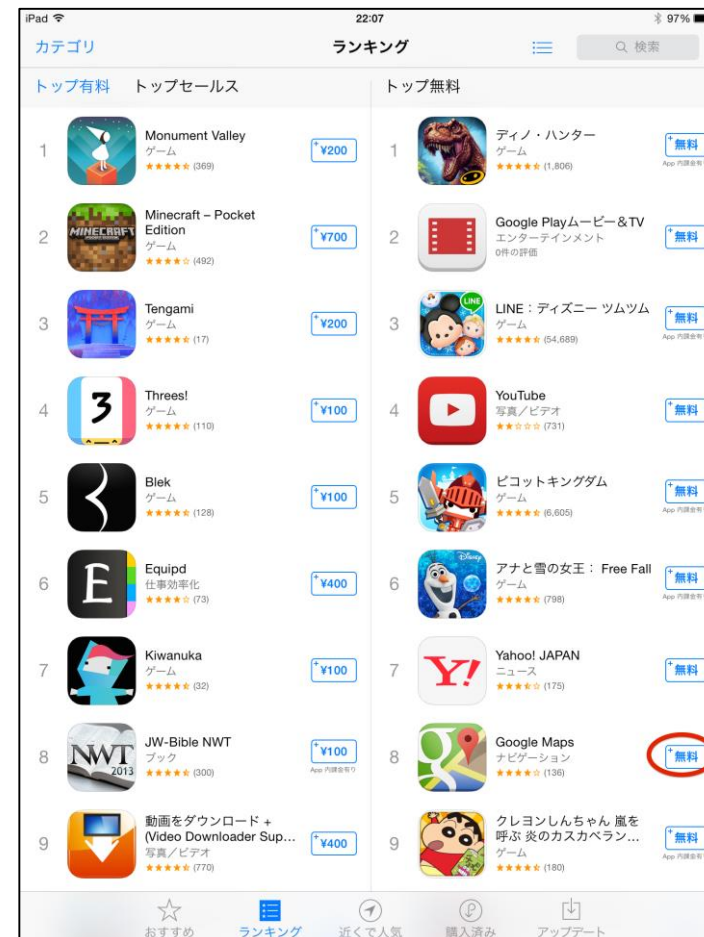
3 アプリをインストール可能にする。

①



「設定」ではなく「App Store」から。

②



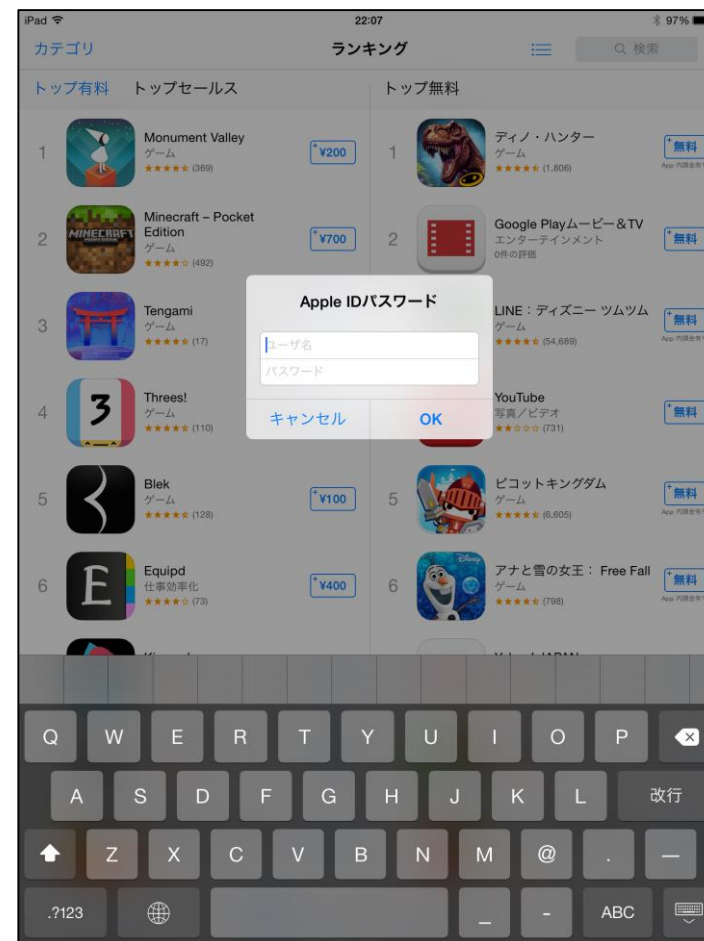
無料のアプリをインストールします。

③



「既存の Apple ID を使用」を選択。

④



空欄に先ほど決めた Apple ID と
パスワードを入力します。

⑤



「レビュー」を選択。

⑥



「日本」を選択。

⑦



iTunes Store の規約が出てくるので、
下に読み進めて「同意する」を選択。

⑧



クレジットカード情報は「なし」を選択。
(通常の設定の仕方では「なし」を選べません)

⑨



利用者の情報を求められるので、
各学校の情報を入力。

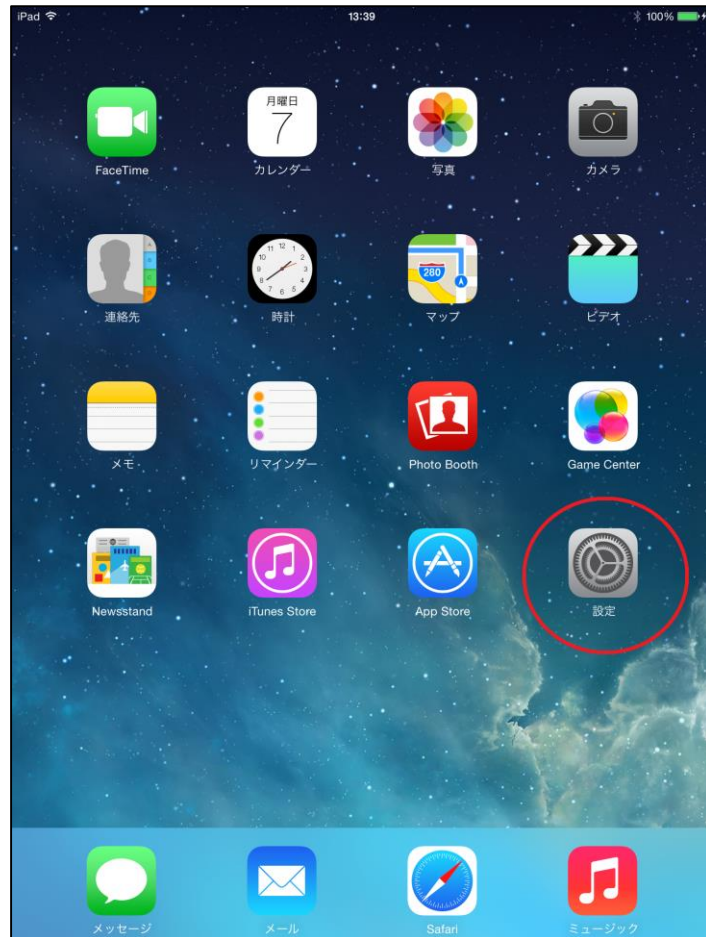
⑩



これでアプリのインストールが可能に。
2 台目以降はこのような作業は必要ありません。

4 iPad の機能に制限をかける

①



設定の変更は基本的に設定から行います。

②



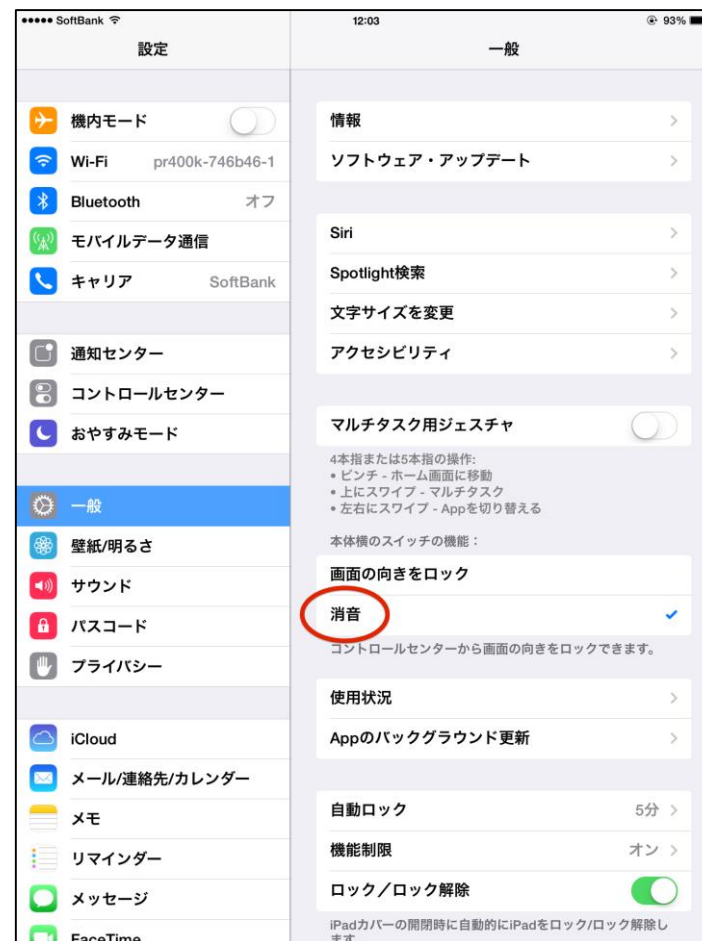
基本的な設定は左側の「一般」で行います。

③



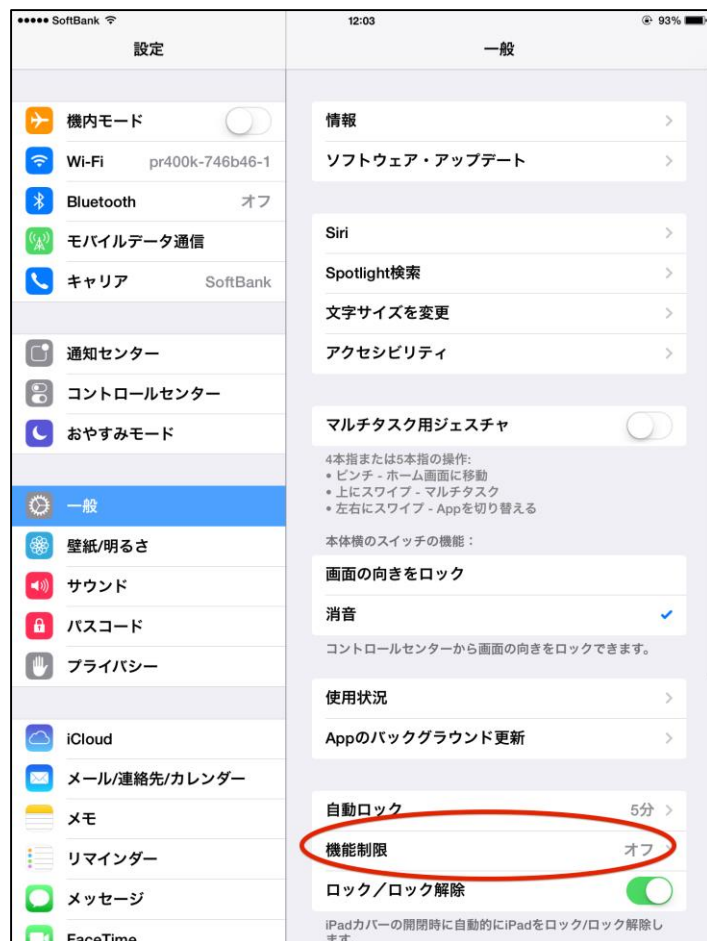
誤動作の元になるので、「一般」から入って『マルチタスク用ジェスチャ』を OFF に。

④



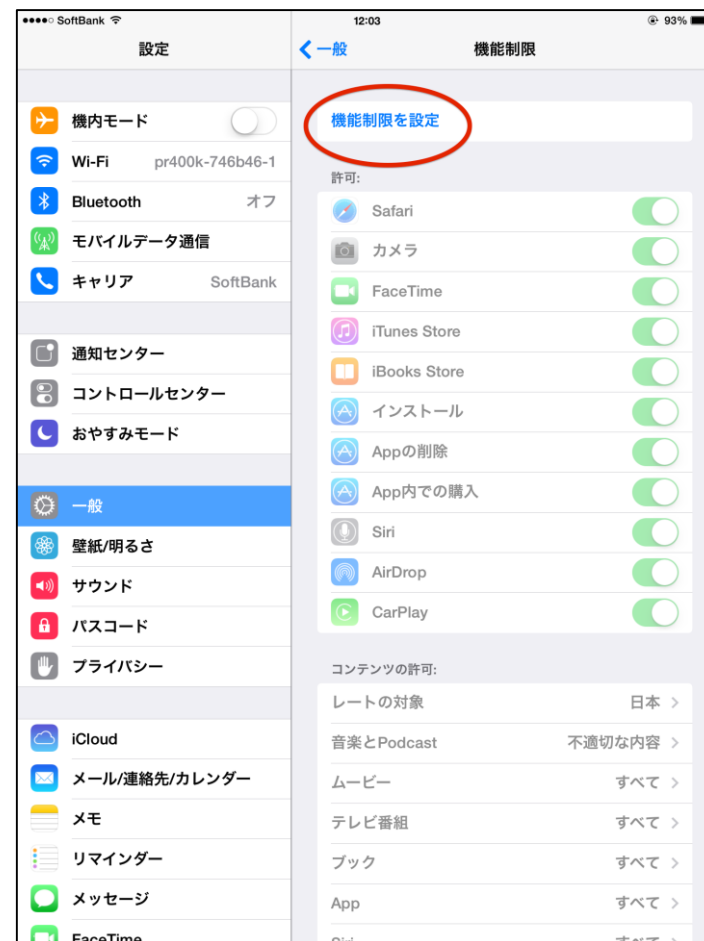
同じく「一般」から本体横のスイッチ機能を「消音」に

⑤



「一般」から『機能制限』を選択。

⑥



[機能制限を設定]を選択

⑦



機能制限を変更する時に必要な 4 ケタの
パスコードを設定します。
ここでは「****」と入力

⑧



←絶対忘れないように管理のこと！忘れると、機能制限を戻せな
くなり、P Cを使って初期化する必要があることも！

⑨

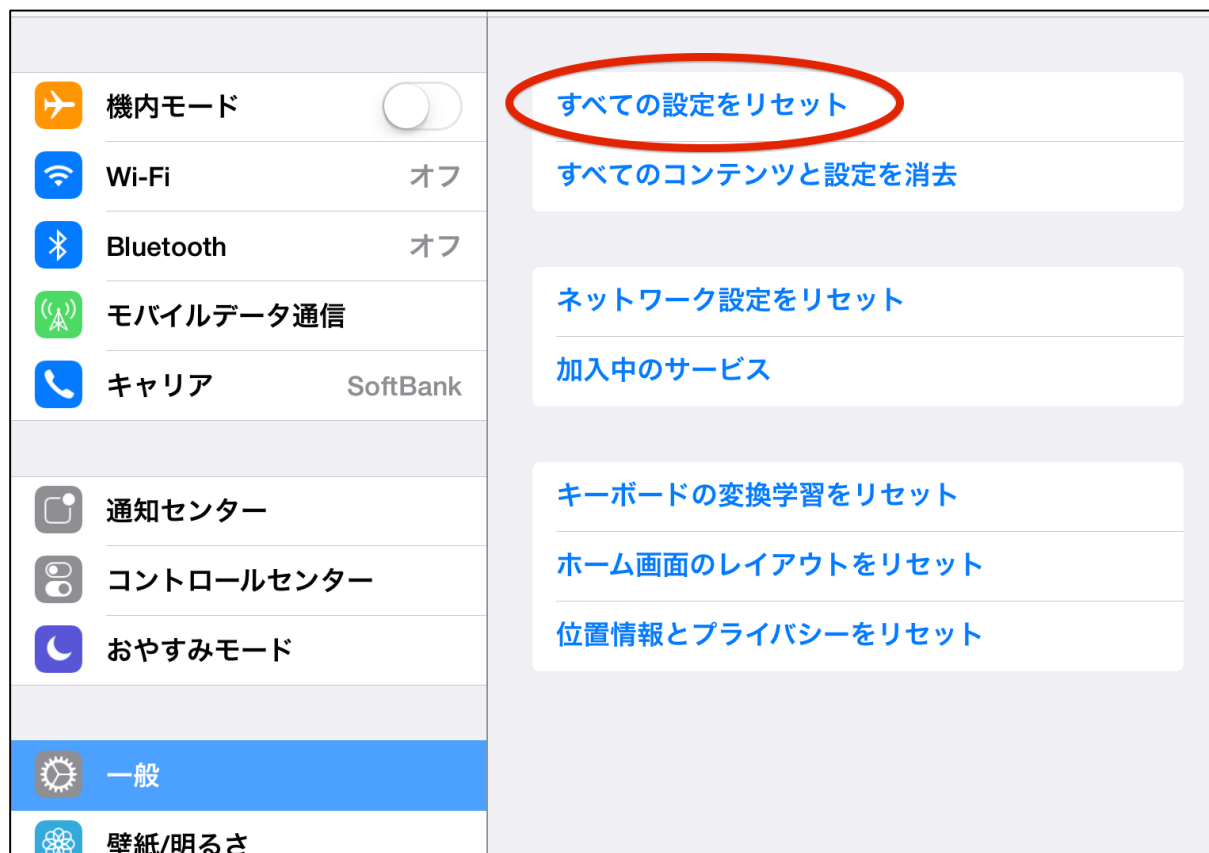


A	Safari	標準の Web ブラウザ。これを OFF にしておくと、不本意なサイトに飛ぶ危険がなくなります
B	Face time	テレビ電話機能。誤ってかけることのないよう、普段は OFF に。
C	iTunes	音楽や動画を DL するサービス。学校では使わないので OFF に。
D	インストール	アプリを検索、DL するサービス。各校の実態によりませんが、できれば OFF に。
E	削除	アイコン長押しでのアプリ削除をできなくします。 <u>これは必ず OFF に！</u>
F	アドオン	コンテンツの追加購入。これも OFF に。



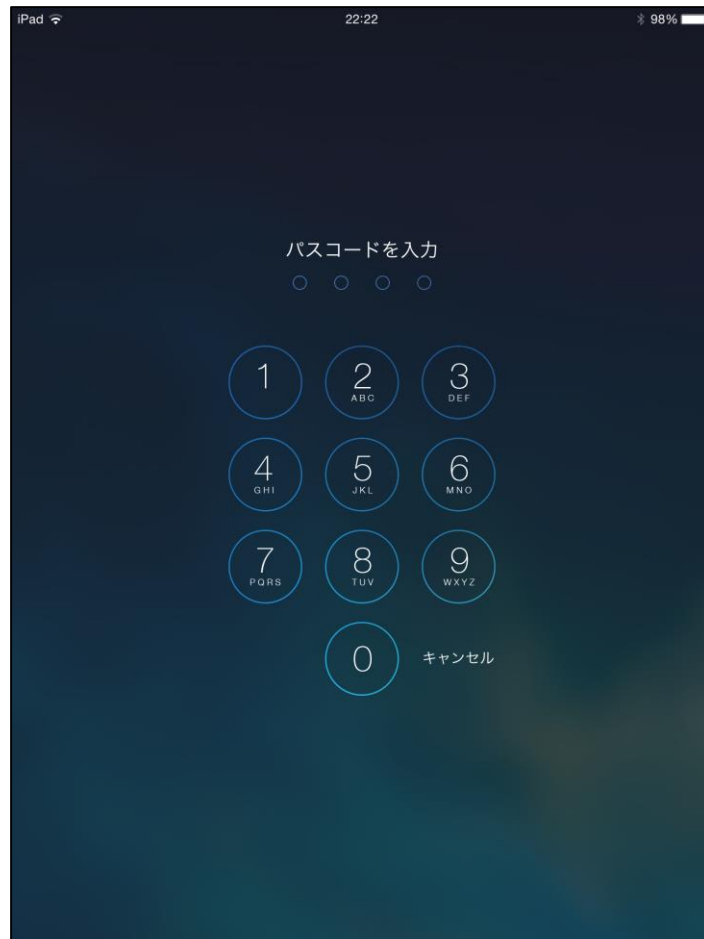
G	ムービー	ムービーや書籍の閲覧を制限。成人指定や不適切な表現の閲覧を禁止しておきましょう。
H	テレビ番組	
I	ブック	
J	Siri	Siri への不適切な発問を禁止。
K	Web サイト	アダルトコンテンツの検索・閲覧を制限。
L	パスワード	Apple ID のパスワードを要求する時間を即時／15 分に切り替え。

⑩

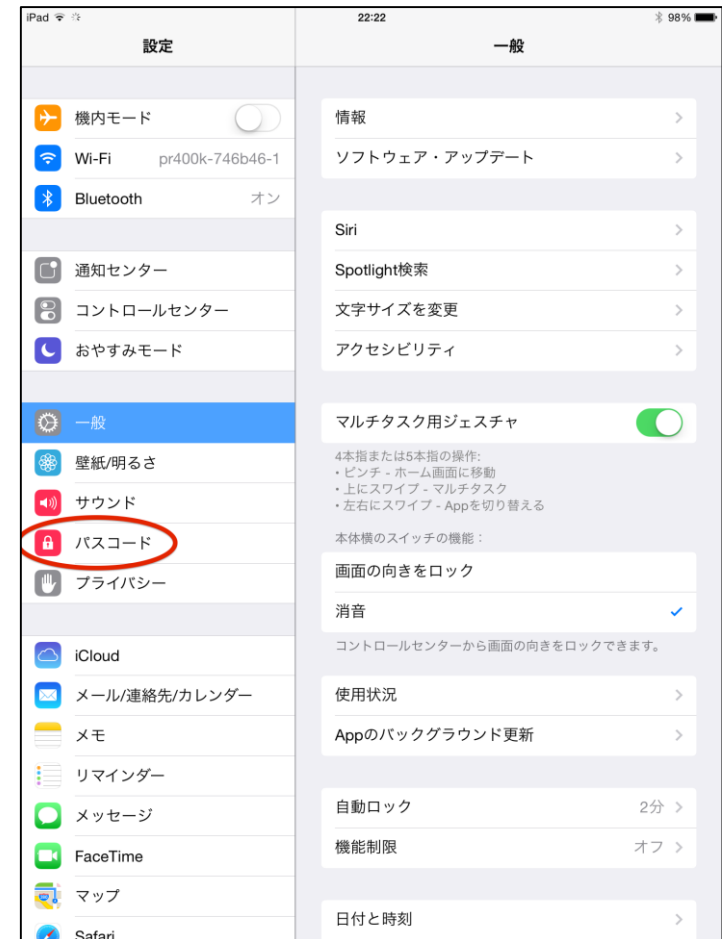


設定を変更していて、思わぬ設定が変わってしまった、どう戻せばいいかわからなくなった場合…
そうなったときは設定 → 「一般」 → 『リセット』で、すべての設定を、買って来たときの状態に戻すことができます。
左図○の部分を選ぶとリセットがかかります。コンテンツの消去を選ぶと、iPad 内のデータすべてが消えるので誤って
選ばないように、注意しましょう

⑪



初期の設定のままだと、iPad を起動する度に
パスコード(****)を要求されてしまい、教育活動で
利用するのに不便ことがあります。



設定 → 「パスコード」と進んで…

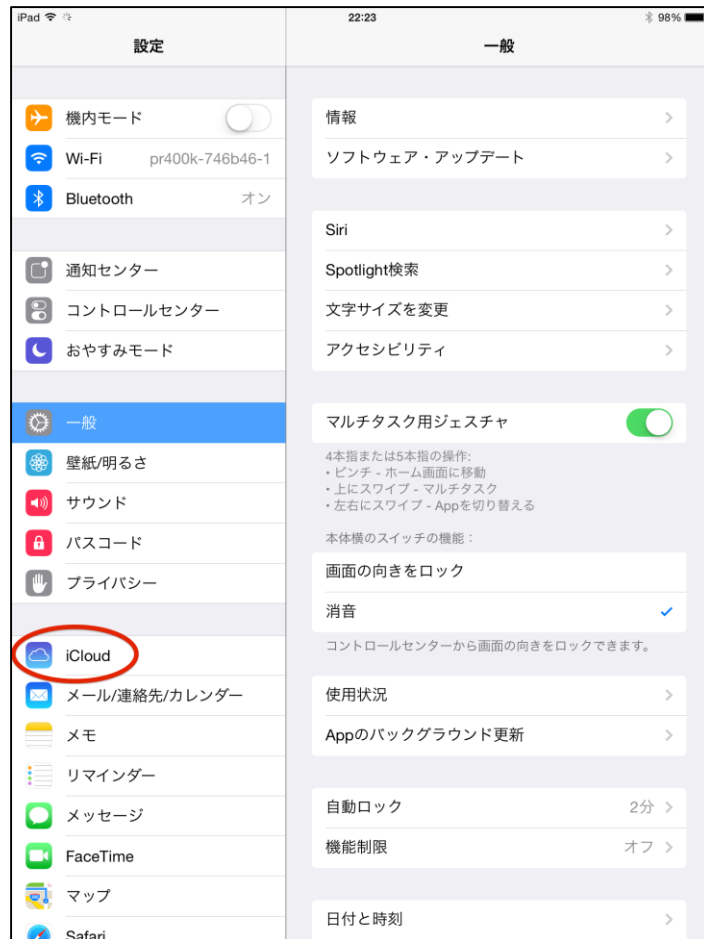


『パスコードをオフにする』を選択。



途中、パスコードを求められた場合は、
すべて「****」を入力します。

⑫



最後に iCloud について。

設定 → 「iCloud」と進むと…



ほとんどの機能が ON になっているので…



『メール』以外を OFF に。
特に『写真』は必ず切っておきましょう。